学校番号	122

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地学基礎 新改訂（実教出版）						
副教材等	地学基礎 新改訂 演習ノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地震や火山、岩石、化石、天気、星や宇宙…わたしたちの身の周りに存在する自然や自然現象などは、すべて地学的な現象であるといえます。これらの基礎を知ることは、わたしたちが地球人として生きていく上で不可欠です。

・授業は教科書を中心に進めます。実験・実習も行います。
・直接目で見ることができない事象（地球の内部や地球の歴史など）も多く学習します。原理や根拠をもとに想像する力をつけてください。
・用語を正しく覚えて、日常生活の中にある地学的な現象について理解を深めてください。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。目的意識を持って観察・実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育むとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地球や宇宙の事物･現象について関心や探究心をもち､意欲的にそれらを探究しようとするとともに､科学的態度を身につけている。	地球や宇宙における事物･現象の中に問題を見いだし､探究する過程を通して､事象を科学的に考察し､導き出した考えを的確に表現している。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、地球や宇宙における事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	地球や宇宙における事物･事象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	授業プリントまたはノート 発問に対する返答等 確認テスト ワークシート･レポート 発表 実験・実習等	確認テスト 定期考査 ワークシート･レポート 発表 実験・実習等	確認テスト 定期考査 ワークシート・レポート 実験・実習等	確認テスト 定期考査 ワークシート・レポート 実験・実習等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球の構成と運動	地球の形と大きさの調べ方	○				a:地球の構成と運動について関心をもち、意欲的に取組もうとする。 b:地表の岩石を分類できる。また、地球内部のエネルギーについて考え、それによって起こる現象を推定することができる。 c:岩石や鉱物を判別する方法、地震のデータをもとにして震源を探る方法を習得し、結果を図や表を用いて表現できる。 d:地球をつくる岩石や鉱物の成因、プレートの運動、火山や地震などの現象を理解し、これらが地球の運動と密接に関連していることが認識できる。	授業プリントまたはノート 発問に対する返答等 確認テスト ワークシート 実験・実習 発表 定期考査
		地球内部の層構造	○					
		地球を構成する物質		○				
		地殻を構成する岩石			○			
		プレートテクトニクス		○				
		大地形の形成				○		
		火山活動				○		
		地震活動			○			
2学期	地球の変遷	地層のでき方	○				a:地形や地層、化石ついて観察や実験を行い、地球の歴史に関心を持ち、積極的に調べようとする。 b:地形や地層の構造や化石を調べることで、地球の成り立ちを推定することができる。 c:地形や地層、化石の観察方法を習得し、観察結果に基づき、土地の成り立ちについての推論を行うことができる。 d:地形や地層、化石などの観察法やでき方がわかり、地質現象などと密接に関係していること、地球の歴史を説く重要な手がかりであることを認識できる。	授業プリントまたはノート 発問に対する返答等 確認テスト ワークシート 実験・実習 発表 定期考査
		地質構造の形成			○			
		化石と地質時代の区分		○				
		①先カンブリア時代				○		
		②古生代、中生代				○		
		③新生代				○		
	大気と海洋	大気の構造	○				a:大気や海洋の構造を知り、気象現象や天気の変化について探求的に学習しようとする。 b:大気の垂直方向への循環、水平方向への循環、海洋の循環がそれぞれ気象現象に密接に関連していることを推定できる。 c:乾球・湿球温度計により湿度の測定ができる。天気図から天気の変化を予想することができる。 d:大気の垂直・水平方向の循環について把握し、それらが毎日の天気の変化など日常生活と関連していることがわかる。	授業プリントまたはノート 発問に対する返答等 確認テスト ワークシート 実験・実習 発表 定期考査
		大気中の水とその状態			○			
		雲		○				
		大気の大循環				○		
		温帯低気圧と熱帯低気圧			○			
		海洋の層構造と循環	○					
		気象と気候				○		
		日本の四季	○					

3学期	太陽系と宇宙	太陽系の概観	○				a:地球や惑星の運動・太陽系・恒星や宇宙について興味を持ち、観察や実験を行いながら学習しようとする。 b:地球や惑星の運動について思考できる。恒星の観察からわかったことから、恒星の進化や宇宙の成り立ちについて推論することができる。 c:太陽の観察から、太陽に関する現象や運動を推測できる。宇宙の膨張について、モデルを使って確かめることができる。 d:太陽系とそれを構成する惑星についての知識を身につけ、地球と太陽系の運動について理解できる。恒星の構造や進化、宇宙の構成や成り立ちについて理解できる。	授業プリントまたはノート 発問に対する返答等 確認テスト ワークシート 実験・実習 発表 定期考査
		太陽系の誕生と惑星の分類		○				
		惑星の構造		○				
		太陽のすがた			○			
		太陽をつくる物質			○			
		太陽の明るさと活動			○			
		太陽の誕生				○		
		これからの太陽			○			
		宇宙の構造				○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。